

PTA会報



入学式



PTA総会

今、ここに在ることの幸せ

PTA会長 後藤由歌



4月の総会にて承認いただき、PTA会長を務めさせていただいております後藤と申します。会員の皆様、先生方、役員の方々の協力があるPTA活動が生きてくると思っています。本年度は創立90周年の節目の年でもありますので、皆様のご支援ご協力の程お願いいたします。

さて、昨年3月の東日本大震災の発生から1年4ヶ月が経ちました。被災地では多くの命が犠牲となりました。生き延びた方々は大変な悲しみや苦しみ、不安など、色々な想いを抱えながら生きています。そのような状況にいる人達が居る反面、この地域で生きている私たちは過去から現在に至るまで災害も少なく、水も空気も美味しく、幸せに普通に暮らしています。

きっと今、皆さんがここに在ることに意味があるのだと思います。今、生かされていることにも同じように意味があります。まずは、自分を産んでくれたご両親が居るから、今の自分が居るということに感謝してみてください。自ずと幸せだと思えるのではないのでしょうか。

今年の夏は、羽島高校に携わって下さった多くの方々のおかげで、各教室にエアコンが設置されました。羽島高校に涼しく快適な夏が訪れて、爽やかな風とともに生徒皆さんの幸せな笑顔を見ることができるようになりました。きっと、学習の能率もグンと上がってくれることと思います。

そして学校行事も、文化祭やなまじり祭り等、会員の皆さんに参加していただける機会もありますので、是非学校にいらして下さい。他にも、今年で4年目を迎えます「あいさつランドはしま」、3年目を迎えます学校菜園にも取り組んでいきます。「あいさつランドはしま」のおかげでしょうか、昨年あたりから生徒さんたちが、「おはようございます。」「こんにちは。」と、元気に挨拶してくれるようになり、とても嬉しく思います。毎月

15日の朝8時からの活動ですが、これからも続けていきたいと思っております。

学校菜園で収穫した野菜は、一昨年はウォークラリーで豚汁の材料に使用し、生徒の皆さんに食べてもらいました。皆に美味しいと喜んでくれたことがとても嬉しかったです。昨年はさつまいもを作り、食育の一つとして1年生の生徒さんにも掘りを体験してもらいました。そしてSクラブの生徒と先生、役員で鬼饅頭を作り、老人ホームなどに差し上げてきました。将来的には学校の調理実習に役立てたり、生徒に持ち帰ってもらい、ご家庭でお子様と一緒に料理して食べてもらえればと思います。今年は、玉ねぎに挑戦しましたが、残念ながら不作に終わりました。冬には大根にチャレンジします。畑仕事に対しては素人の集まりなので、先生方や役員さんに、草取りなど手伝ってもらいながら、なんとかうまく行くようがんばります。

私は今、自分の置かれている立場を、自分なりにできていることを楽しみながら生きています。そして、多くの経験や体験をさせてもらい、とても幸せに思い、感謝しています。

話は前後しますが、本校は今年10月に創立90周年記念式典を迎えます。とても歴史があり、誇りが持てる伝統です。この先も、百年、二百年と、歴史が続くことを願っています。今後の日本は、ますます少子化が進む中で、この歴史ある羽島高校が存続されていくためには、現在のそしてこれからの生徒さんたちに、その命運がかかっていると思います。そのためには、地域の皆様からも認めてもらえるような、高校生としての好感度、素直さ、はつらつとした元気な姿を見てもらうことが重要ではないのでしょうか。そして私たち保護者としての「在り方」も大切だと思います。

私自身、まだまだ未熟で至らない面も多々ありますが、元気で明るいPTA活動にしていきたいと思っております。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

先般のPTA総会において新しい役員が決定されました。新しく会長として就任されました後藤由歌様をはじめ会員の皆様には、本校の発展のため

にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。また、先日の岐阜県PTA連合会総会において本校役員として3年間務めていただきました前会長の兼松博之様に表彰状が授与されました。旧役員の方々には長年のご支援をありがとうございました。

さて、東日本大震災後1年と4ヶ月余りが経過しましたが、いまだに定期的に行方不明者の捜索が行われています。あらためて亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りすると同時に、未曾有のこの災害を忘れてはならないと強く思っています。本校教育においても非常変災時における対応等については、避難防災訓練をはじめとし、危機管理意識をもって取り組んでいきたいと考えています。

平成24年度全校生徒570名でスタートしましたが、子どもたちは、学習・部活動・生徒会活動等に積極的に取り組んでいます。高校3年間で何を学ばせ、どんな力を身につけさせたらよいのでしょうか。まずは、授業に真面目に取

り組み、進学や就職に対応できる学力を身につけさせることだと思います。お子様の進路実現が果たせるよう教職員は一丸となり、わかる授業のため授業改善に取り組んでいます。次に、部活動を通じて様々な体験をさせて、心身を鍛えさせることだと思います。バスケットボール・サッカー・硬式野球・弓道部等の運動系や吹奏楽・茶華道・書道部等の文化系、それにボランティア活動を行うSクラブが、教員の指導を受けながらも自主的に活発な活動をしています。部活動への積極的な参加を推進していきたいと考えています。

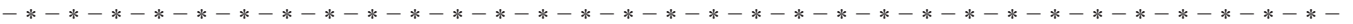
保護者の皆様も同じ願いであると思いますが、子どもたちに高校生生の時期にしか打ち込めない学習と部活動に全身全霊で向かってほしいものです。

さらに、進学や就職を考えた時、基本的な生活習慣を身につけさせることであると思います。

- 1 元氣な挨拶をする
- 2 時間を守り、遅刻をしない
- 3 制服を正しく着用し、身なりを整える

この3つを、機会を捉えて子どもたちに話していきたいと考えています。

かけがえのない高校3年間であります。我々教職員は、精一杯子どもたちの指導や支援をしまいにあります。保護者の皆様におかれましても、ご家庭でお子様にいろいろと声をかけ激励していただきたいと思っております。よろしくお願ひします。



平成24年度PTA定例総会

<新役員決定>

4月27日(金)

平成24年4月27日(金)、「平成24年度PTA定例総会並びに部活動後援会総会」を、本校体育館にて開催しました。今年度は、生徒が元気に活動している姿を見ていただきたいという目的で、Sクラブの活動発表、弓道部の演武、吹奏楽部のパフォーマンスを行い、その後総会を行いました。

平日のお忙しい中にもかかわらず、保護者の方々には多数参加をしていただき、議案等は原案のとおり全て承認されました。また、この総会の席において、PTA会長が兼松博之会長から後藤由歌新会長へと引き継がれ、新会長から旧会長並びに旧役員の方々に感謝の意を込めて感謝状と花束の贈呈がありました。

総会終了後は、新転任職員の紹介、校務分掌長・学年主任等の紹介、進路指導部長・生徒指導部長による本校の現状と指導方針についての説明があり、続いて、学年懇談会や学級懇談会が開かれました。

＝新役員＝

会 長	後藤 由歌	
副 会 長	今 幸治	兼松 博之
書 記	川柳まさ裕	日比 伸也
会 計	野田 宏美	橋詰 広
会計監査	舛本千佳子	武山 真澄
1年学年委員長	坂 純子	副委員長 虫賀 匡子
2年学年委員長	岩田 義子	副委員長 毛利 恵美
3年学年委員長	水谷 恵	副委員長 坂倉ひろみ



有意義で楽しい 高校生活を送るために

生徒指導部

本校では、基本的な生活習慣の確立を柱として、社会の一員としての自覚と、自らの行動に責任を持ち、自己の能力を生かすことのできる生徒になるために、「自己指導能力」の育成を念頭においてさまざまな教育活動を行っています。そのために本年度も、「遅刻防止」「授業規律の確立」「正しい服装・頭髪」を生徒指導部の重点目標として指導をしています。そのためには、生徒自身が本校の規則をしっかりと認識し、高校生としての自覚を持つ必要があります。

夏休みを前に、ご家庭でもお子さまの日頃の生活や学習状況を今一度ご確認ください、有意義で楽しい高校生活を送るため、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

また生徒の皆さんは、いろいろな悩みを持ち、壁を乗り越えながら日々成長しています。教育相談室では主にそういった生徒さんの心のサポートを行っています。生徒さん自身が自分の抱える課題と向き合い、それを解決していけるように支援をしていきたいと思っています。今年度も臨床心理士の先生に來校していただき、カウンセリングを行っていただいていますので、保護者の皆様も気軽に利用してください。



あいさつランドはしま (毎月15日羽島市役所前駅にて)

特別活動で充実した学校生活を

特活指導部

学校生活で最も大切なのは、当然「学習」です。同時に高校生という最も人間として成長する時期に大事な活動が、特別活動です。LHR活動・生徒会活動・学校行事、そして部活動を通しての活動が学校生活に充実感をもたらします。教室の中では学習することができない貴重な体験をする機会であり、その活動の経験は心や体を磨き、新しい自分へと成長させてくれます。

本年度はこれまでに生徒会行事として、新入生歓迎会(4月)、球技大会(5月)が開かれました。行事では、新入生が羽島高校に慣れると同時に、各クラスの絆を強めることができ、有意義な時間になりました。

校内の行事としては最大の文化祭が9月7日(金)に開催されます。毎年、各クラスで企画を考え、生徒自らの手で様々なものを作り上げていきます。また、文化系部活動の発表の場として、吹奏楽の演奏や美術・書道の展示などの企画もあります。現在は生徒会執行部や文化委員を中心に、各クラスでの取り組みが始まっている段階です。

10月26日(金)にはスポーツフェスティバルが予定されています。この大会では球技大会と違い、バレーボール・バスケットボール・卓球・大縄跳びなどのいろいろな種目を開催しますので、球技大会とはまた違った楽しみがあります。

毎年、秋には芸術鑑賞会があるのですが、今年は創立90周年の記念行事の中で、オーケストラの演奏会を鑑賞します。

その他、生徒会執行部・Sクラブ・MSリーダーズを中心にした、あいさつランドはしまへの参加(毎月15日)や地域のボランティア活動や羽島市における行事(なまず祭り等)への参加を行っています。

いろいろな活動を通して、新しい自分を発見することができるのも特別活動です。充実した学校生活を送る源が特別活動にはあります。今後とも、本校の特別活動についてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

健康的な生活を送るために

保健厚生部

高校生に限らず、私たち人間にとって健康的な生活を送るためには、「食事」・「休養」・「運動」の三本の柱をしっかりと確立することが大切です。4月以来、生徒の皆さんの登校時や教室での様子を見ると、その柱がどれも確立されていないように思われます。特に食事の面では、朝食の欠食やお菓子類での朝食の代替など、一日のスタートとなるエネルギーの補給がとて心配な現状です。時間がないとか食べたくないとか、個々に理由はあるかも知れませんが、朝食は登校前にしっかりと家庭で摂っていただくのが基本です。時間がない理由や食べたくない理由が、夜更かし、就寝前の飲食など、生活の乱れがその原因となっていることも考えられます。遅刻者が多くみられることから、今一度生活習慣の見直しが必要です。高校時代に、元気で楽しい生活を送るためには、十分な栄養の補給と休養、さらには運動による身体への刺激により、身体諸器官を活性化することが必要です。生活習慣を整え、明るいつまみととも一日が始まり、学習や部活動に懸命に努力できる、そんな高校生活を目指してくれることが、われわれ教師の願いでもあります。保護者の皆様には、お子様の健康について見守りとご支援をお願いいたします。

保護者の皆様も 羽島高校図書館をご利用ください

図書視聴覚部

梅雨入り間もない6月中旬、羽島高校の朝の風景がほんの少し変わりました。

本校では今年度も、春と秋の2回、各5日間の『朝読書』を計画し、このたび春の朝読書期間を無事終えることができました。本校の朝読書の目的は「書物に親しみ幅広い知識や教養を身につけ、心豊かに生きてゆく力を育む」ことです。1年生はまだ慣れていなかったかもしれませんが、少々落ち着きのない様子も見受けられました。しかし2・3年生はどうでしょう。ほとんどの生徒が、本や準備されたプリントを手にし、静かに読書を楽しむことができました。たかが10分、されど10分。「朝読書で羽島高校が飛躍する」…そんなことを感じさせる5日間でした。

さて、羽島高校図書館では保護者の皆様にも本の貸し出しを行っております。お子さまを通じてどうぞご利用ください。おひとり5冊まで、貸出期間は2週間です。お子さまが読まれた本を保護者の方も読んで共通の話題を持つ、あるいは、お子さまにぜひ読ませたいお薦めの一冊を推薦する…。夏休み期間を利用して“親子で読書”の時間を持つことができたら素敵ですね。図書館が皆様のお役に立てるのならば、こんなに嬉しいことはありません。羽島高校図書館には、専門書から新刊本まで、2万冊を超える蔵書があります。図書委員会の生徒が書店で直接選書をした本も並んでいます。「こんな本を探している」というご要望にもお応えいたします。ぜひご利用ください。お待ちしております。



図書委員による『おはなし会』開催のお知らせ

日時: 8月8、10、22、24日の4日間 AM11:00~11:15
場所: 羽島市児童センター
内容: 地域の子どもたちに向けた絵本の読み聞かせ
お時間がございましたら、生徒たちの活躍ぶりをぜひご覧ください。

昨年度の進路状況を見ますと、四大進学者が22%、短大12%、専修各種学校25%、そして就職が34%となっています。本校は普通科高校ですが、大学短大進学、専門学校進学、就職とほぼ3分の1ずつになっています。今年度の3年生の進路希望状況を見てみると、特に就職希望者は増加傾向にあり、求人数の減少傾向に対し、ますます厳しい状況になってきています。

進路実現に必要なことは、一言でいうと「競争を勝ち抜いていくための実力をつける」ということとなります。進学も就職も、試験ではまず「学力」で評価されます。進学校と呼ばれる高校の生徒は、授業だけでなく、家庭でも塾や予備校でも、学力を磨いていますし、模擬試験によって競い合っています。専門高校の生徒は、授業の中や検定受検で専門的な学力を磨いています。

次に大学や企業から評価されるのは、その人の「人間力」です。高校生活の中の「部活動」「生徒会活動」「ボランティア活動」といったものからその人の「意欲」が判断されます。「挨拶」「言葉遣い」「マナー」などからは、その人の「コミュニケーション能力」が判断されます。面接や小論文、書類審査は、そのために行われます。

羽島高校では今、生徒の「実力」アップのため、次のような活動をしています。

1 進学補習・土曜学習

補習は、進学希望者を対象に、放課後に行っています。外部模試や入試に対応した内容となっています。土曜学習は、土曜日の午前中、定期考査や外部模試対策を目的とした自学自習を基本として、視聴覚室を開放しています。希望者には、岐阜大学や名古屋大学の学生の学習支援者による講義も行っています。



土曜学習

2 ふれあい看護体験・2年生インターンシップ

ふれあい看護体験は5月と8月に行われます。全学年の生徒が対象で、看護医療系の進学・就職を考えている生徒に、積極的に参加するように呼びかけていま

す。インターンシップは、2年生の希望者が対象で、7月24日から26日までの3日間で行われます。教室では得られない貴重な就業体験や事前、事後の研修を通して、働くことの意義や目的を考える契機にします。

3 就職指導員の配置

「平成24年度県立高等学校就職指導員配置事業」により、5月1日より就職指導員が進路指導室に常駐しています。進路指導部・担任と協力して、保護者の皆様やお子様の就職に関する支援をしていただきます。現在まですでに3回目の懇談を行っていただき、希望職種の絞り込みを行っているところです。

4 外部講師の活用

「平成24年度就職指導緊急サポート事業」により、キャリアカウンセラーを派遣していただいています。主に放課後を利用し、面接の基本的な受け方から実践までを指導していただいています。

5 3年生進路別研修会

6月6日に3年生は、進路別研修会を行いました。岐阜県内の大学短大を中心に、岐阜・愛知の専門学校から来ていただき、分科会形式で説明を受けました。1、2年生も12月と1月に、同様の進路別研修会を計画しています。



進路別研修会

最後になりましたが、保護者の方にはお願いがあります。それは、本人の意向を尊重することはとても大切なことですが、ぜひ保護者の方にも積極的に関わっていただきたいということです。生徒たちは人生の重要な岐路に立っていて、多かれ少なかれ不安定になっています。そんなとき保護者の方のアドバイスは、とても重要な意味を持ってきます。

また、ご不明な点などがありましたら、就職・進学とも保護者説明会を開いておりますので、その折にでもお気軽にご質問ください。お子様の進路実現に向け、学年団とも協力し、最大限の努力をしてみたいと思いますので、よろしくお願い致します。

3年後を見据えて

1年学年会

入学式を迎え、晴れて羽島高校生となり、間もなく1学期が終わろうとしています。緊張感あふれた入学式を迎えた1年生が、この4ヶ月の間に新しい学習環境や部活動、そして人間関係などに戸惑いながらも、ようやく羽島高校の生活にも慣れてきたように感じます。最近のご家庭でのお子さまの様子はいかがでしょうか。

さて、入学してまだ日も浅いですが、先日2年次からのコース選択に関する予備調査を実施しました。普通科高校の進路には様々な可能性があります。この選択により、卒業後のお子さまの進路がある程度絞られてくることになります。ご家庭でも卒業後の進路を踏まえ、じっくり話し合っただき、保護者懇談会等で担任と決定していただきたいと思っています。

しかし、最近1年生の様子を見ていて特に気になることが、遅刻をしてくる生徒の多さです。ゴールデンウィークを過ぎた頃から、少しずつ遅刻をする生徒が増え始めてきました。

入学したばかりの1年生には、遅刻をあまり深刻にとらえていないのかもしれませんが、3年生になって進路を考える時に、一番苦しむのがこの遅刻の問題です。進学で推薦を考える生徒はいうまでもありませんが、就職をめざす時に企業が一番嫌うのが、この遅刻の多さだからです。3年生になり、1年次の遅刻の多さを悔やんでも、もう取り返しはつきません。入学式やPTA総会でも遅刻・欠席の数だけは注意するよう申しましたが、今一度お子さまの遅刻についてご確認ください。

また、1学期が終了することにより、羽島高校に入学して最初の成績表をお渡しします。夏休みの補充を考え、欠点さえ取らなければいいという生徒もいますが、進路のことを考えるならば、少しでも良い成績を取ろうとする貪欲さを出して欲しいものです。

入学してようやく1学期が終わろうとしています。高校生活はあっという間です。3年先を考えた指導をするためには、より先を考えることができる保護者の皆様方のご協力が欠かせません。学校と家庭が連携し、お子さまの将来を考えていきましょう。

自己の進路を考える

2年学年会

今年度、2年生は190名でスタートしました。2年生となつて、何をこころがけて生活すればよいかを述べたいと思います。

1年生の目標は、まずは「高校生活に慣れる」ことと、「(中学校とはちがう) 高校教育の仕組みを理解する」ことでした。高校での生活が、中学校とはまったく異なるため戸惑う生徒もいましたが、昨年1年をかけて徐々に学び、高校のきまりも理解でき、それに従って行動できるようになりま

した。

さて今年度、2年生になつての目標ですが、それは「自分の進路を考える」になるのではないかと思います。3年生になると、夏までに進学・就職に向けて活動を始めなければならず、じっくりと自分の適性を考えている余裕はありません。入試対策や就職試験対策、面接の練習など、やらなければならないことがたくさんあります。そこで2年生の時間を活用する必要が生じます。

2年生は昨年から総合学習・LHRの時間を通して、進学・就職についていろいろと学んできました。ある程度は2年生の頭の中に、自分の将来像が浮かんでいると思います。しかしそれはまだ確かなものではありませんので、この1年間で検討してほしいと思います。インターンシップ(就労体験)、ふれあい看護体験やオープンキャンパス等、自分の進路を検討する機会はたくさんあります。これらのものに積極的に参加し、この1年を有効に活用されるとよいでしょう。

2年生は、今年度も欠席・遅刻・早退が多い状況が続いています。また、学校にふさわしくない服装の者がいます。保護者の方にはお願いですが、社会で生きていくために必要な常識・マナーを身につけられるよう、ご家庭でのご指導をお願いします。家庭と学校で協力して、大切なお子さまを立派な社会人へと育てていきたいと思っています。

進路実現に向けて

3年学年会

3年生になって、最高学年としての自覚が見られるようになりました。欠席や遅刻の状況が改善され、学校行事や部活動において下級生をリードし、自らの高校生活を充実させようと努力している姿が見られます。

本年度の3年学年会では、生徒一人一人の「自己実現」のために、生徒自らが自己の進路を真剣に考え、開拓する努力を支援したいと考えています。

進路開拓の努力をする過程で、生徒が一回り大きく成長してくれることを願い、我々教員も生徒と一緒に悩み、苦しむ、汗をかく覚悟です。

特に就職に関しては、厳しい現状を乗り越えなければなりません。その努力過程で、挨拶や身なり、言葉遣い、時間の厳守などの大切さに改めて気づき、高校生活の意味を再認識してくれることを期待しています。

7月以降は特に、保護者の皆様方との連携を図りながら、全力で進路実現の支援をしてまいりたいと考えています。これを機に、ご家庭でも是非、進路先だけでなく、お子さまの人生、家族の在り方、生きる意味などについても、腹を割って語り合う機会を持っていただきたいと思っています。

お子さまのこれからの大切な人生を考えながら、この1年間を一緒に過ごして参りたいと思います。今後とも保護者の皆様方のご理解とご協力をよろしく願います。

東海地区高等学校PTA連合会 三重大会に出席して

6月15日、三重県総合文化センターにて、平成24年度東海地区高等学校PTA連合会三重大会が開催されました。

開会式の後、研究協議として三重県立水産高等学校「生徒指導とPTA」、愛知県立一宮南高等学校「家庭教育とPTA」という題でそれぞれの実践発表がありました。

三重県立水産高等学校は、全国的にも稀な水産高校ということで、船の操作から真珠の加工まで、水産業を支える特色ある教育を展開しておられ、地域との密接な関係の中にPTAもあるようでした。「サバCAN」を東日本大震災の被災者に送ろうという取り組みは、そうした地域産業に根ざした職業高校ならではの取り組みとして、生徒とPTAだけでなく、地域とのつながりも感じる発表でした。

愛知県立一宮南高等学校は、PTA理事60名（本校では学級委員に相当）を、生徒の出身中学校から選出しており、理事が「研修」「進路」「生活」「保健」「広報」の各委員会に所属して活動しているということでした。昨年の静岡県立科学技術高等学校は、生徒の通学が広範囲であるという理由から、各地域で役員を選出して活動しているという報告がありましたが、一宮南高等学校の取り組みは保護者同士の「顔」が見える組織作りを意図しておられるように感じました。また、PTA講演会や文化祭での模擬店、広報誌の編集など苦勞しながらも地道な活動を着実につづけられている様子がよくわかりました。

記念講演は、高校生レストランで一躍有名になった、三重県立相可高等学校教諭の村林信吾先生により、「生徒と

PTA副会長 兼 松 博 之

とともに進む料理道」という演題でお話を伺いました。

大変気さくな先生で、ドラマになった高校生レストランの反響や、映画セットの料理を作った時のエピソードなどをユーモアたっぷりにお話しされ、会場に何度も笑いの渦が巻き起こる講演でした。

赴任当初は試行錯誤の連続で悩んだこともあったそうですが、部活動として生徒が料理に自ら取り組むと、生徒は単に料理の腕が上がっただけでなく、掃除や人と接する態度など、料理を通じて個々の人間性を高める結果になっていることを、自身の体験を織り交ぜ飾り気なくお話ししていただきました。

講演の最後に見せていただいたビデオ映像では、卒業していく生徒たちが感謝の気持ちと新たな職場では一から取り組むという謙虚な気持ちを口にしている、生徒とともに歩んでおられる村林先生の教育のありように深く感じ入りました。

最後に、「今日もこれから生徒と一緒に明日の仕込みです。」と言い残して会場を後にされる先生のお姿に6月の曇天を吹き飛ばすような爽やかな空気を感じました。

今回も有意義な研修機会を与えていただいたことに感謝し、これからの活動に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。



校内球技大会

5月25日（金）に球技大会が行われました。

球技大会は種目がバレーボールのみで、本校グラウンドに15面のバレーボールコートを作り行われます。

前日の準備から当日の審判や運営、球技大会後の後片付けなどもすべて生徒の手により行われます。

朝から夕方まで、時折小雨に見舞われる状態でしたが、誰一人雨を気にすることなく一生懸命にボールを追いかける姿は、大変素晴らしかったです。

全ての試合が終了した後は、3年生男子の優勝チームVS教員チームの試合を行いました。全校生徒が見守る中、今年は教員チームの勝利で終わりました。



試合結果は以下の通りです

	優 勝	準優勝
1年生男子	1-4 B	1-1 A
1年生女子	1-1 A	1-4 B
2年生男子	2-5 A	2-3 B
2年生女子	2-2 C	2-2 B
3年生男子	3-2 A	3-1 B
3年生女子	3-3 A	3-4 C

